

2016年度 自己点検・評価 全学的課題事項について

◎はとりまとめ組織 ○は検討・連携組織

基準	評価項目	2016年度 全学的課題事項	課題への対応	
			対応組織	改善の方向性
【基準1】 理念・目的	(教学企画部) ■評価項目No.101 教育にかかる基本方針は設定されていますか。	策定された「教育理念・目的」と各学部理念・目的、3つの方針との整合性を検証いただきたい。 【努力課題】	◎教学部 ○教学企画部	2015年度からの全学的課題事項として、現在、教学部が継続的に取り組みを行っている。課題を受けて策定した本学の「教育理念・目的」と各学部理念・目的及び3つの方針との整合性を検証するとともに、各方針を一体的に見直す。
【基準2】 教育研究組織	(教学企画部) ■評価項目No.201 教育組織(学部・学科・専攻等)は、建学の精神や教育理念・目的を実現できる組織として編制されていますか。	「教育組織の編制原理」の策定は、目標年度内の達成が望まれる。 【努力課題】	◎教学部 ○教学企画部 ○研究部	2015年度からの全学的課題事項として、現在、教学部を中心に継続的に取り組みを行っている。引き続き、関係組織が連携を図り、教育研究組織の編制原理を策定する。
	(研究部) ■評価項目No.201 付置研究所・センター等の研究組織は、理念・目的に照らして適切なものですか。	研究組織の編制原理を明確に策定いただきたい。 【努力課題】		
【基準4】 教育内容・方法・成果	(教学部) ■評価項目No.413 学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針は構成員(教職員及び学生等)に周知され、社会に公表されていますか。	本学の教育理念・目的と各学部の教育理念・目的、DP、CP、APとの整合性を本格的に見直すことが可能となったと考えられるので、「三つの方針の策定及び運用に関するガイドライン」を踏まえた、3つのポリシーの一体的策定を早急に進めていただきたい。 【努力課題】	◎教学部 ○教養教育センター	2012年度からの全学的課題事項として、現在、教学部を中心に取り組みを行っている。引き続き、関係組織が連携して改善に取り組む。
	(教学部) ■評価項目No.421 教育課程編成・実施の方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	「三つの方針の策定及び運用に関するガイドライン」を踏まえた、3つのポリシーの一体的策定と関連づけて、カリキュラムチェックリスト及び科目ナンバリングを用いた確認体制の構築に向けて、早急に検討を開始していただきたい。 【努力課題】	◎教学部 ○教養教育センター	2013年度からの全学的課題事項として、現在、教学部が継続的に取り組みを行っている。引き続き、関係組織が連携して改善に取り組む。

基準	評価項目	2016年度 全学的課題事項	課題への対応	
			対応組織	改善の方向性
【基準4】 教育内容・ 方法・成果	(教学部) ■評価項目No.431 教育方法および学習指導は適切ですか。	認証評価の結果、努力課題となった「全学部の履修登録上限について、学部によってその取り扱いが異なるが、例外事項が多く随意科目以外にも卒業研究・卒業論文や特定の専攻科目がその対象外となっているので、単位制度の趣旨に照らし、改善が望まれる」点については、単位制度の実質化の観点から、教育上必要な単位・科目を例外事項に含まないよう速やかに見直しを開始していただきたい。【努力課題】	◎教学部 (各教学責任主体)	2014年度からの全学的課題事項として、現在、教学部が継続的に取り組みを行っている。引き続き、教学部と各教学責任主体が連携して改善に取り組む。
	(教学部) ■評価項目No.442 学位授与(卒業認定)は適切に行われていますか。	認証評価結果において努力課題となった「在籍関係のない状態で学位論文を提出した者に対し課程博士として学位を授与していることは適切ではない」ことについては、計画の通り、2016年度に改善の方向性を決定し、2017(平成29)年度までに「龍谷大学大学院学則」の変更及び「龍谷大学学位規程」の改正を行っていただきたい。【努力課題】	◎教学部 (各研究科)	2014年度からの全学的課題事項として、現在、教学部が継続的に取り組みを行っている。引き続き、教学部と各研究科が連携して改善に取り組む。
【基準5】 学生の 受け入れ	(教学部) ■評価項目No.503 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していますか。	継続的に努力課題となっている研究科における入学定員に対する入学者数の割合は、依然として一部研究科においては、大幅な未充足状態が続いている。【努力課題】	◎教学部 (各研究科)	2011年度からの全学的課題事項として、現在、教学部が継続的に取り組みを行っている。引き続き、教学部と各研究科が連携して改善に取り組む。
【基準7】 教育研究等 環境	(教学部) ■評価項目No.704 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されていますか。	努力課題として指摘されていた「教員の教育・研究の環境整備に関する方針」については、第33回及び34回学部長会において審議し、大学基準協会の新たな「大学基準」や2016年4月から検討を開始する「学修支援の方針」の内容を踏まえて策定することが決定している。計画通りに策定していただきたい。【努力課題】	◎教学部 ○研究部	2015年度からの全学的課題事項として、現在、教学部を中心に継続的に取り組みを行っている。引き続き、関係組織が連携を図り、教員の教育・研究の環境整備に関する方針を策定する。